

家庭教育力の強化を図る

学校・家庭・地域が連携する持続可能なPTA活動

春日井市立味美中学校PTA

1 はじめに

本校は、春日井市で最も西に位置する中学校で、昭和56年に知多中学校から分離・開校し、今年度で創立44年目である。

校区内には二子山古墳（国指定）や白山神社古墳、春日山古墳といった歴史的に貴重な史跡が存在している。また、味美連合区や白山コミュニティを中心に、地域の方々が強い絆で結ばれていることも大きな特徴である。



【味美中学校の校舎】

学級数は特別支援学級2クラスを含めた9クラスで、生徒数は216人。市内で最も小規模な中学校で、学年に関わらず全職員で全校生徒を見守ることができる、家族のような温かい雰囲気包まれた学校である。

2 研究への取組

近年の急激な社会変化に伴い、共働き世帯の増加や価値観の多様化、PTA活動の捉え方が変化し、PTA活動への参加に負担を感じるという意見が多くなっている。また、各地区でも委員選出が困難となっており、活動の見直しが必要となっている。そこで、保護者の負担を軽減しつつ、効果的な活動となるように、PTAの組織や活動内容を精選・スリム化し、学校・家庭・地域が連携する持続可能となるPTA活動の実践を考えた。

3 実践活動の概要

(1) PTA組織の見直し・スリム化

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
組織	会長：1名 副会長：2名 書記：3名 会計：2名 生活委員会：16名 母親委員会：6名 広報委員会：4名 ふれあい汁委員会：4名	会長：1名 副会長：2名 書記：2名 会計：2名 委員：30名	会長：1名 副会長：2名 書記：2名 会計：2名

本校には、令和4年度まで役員8名と、各地区から選出した各学年委員が10名ずつ、計30名おり、各委員会に分かれて活動を行っていた。令和5年度からは、委員会の枠、そして、負担となっていたPTA新聞を廃止し、ホームページにその都度掲載するようにした。令和6年度からは委員を廃止し、役員7名での活動にし、役員・委員が集まる全委員会も廃止した。そうすることで、保護者の負担を軽減できるようにした。

(2) 学校・家庭・地域が連携する持続可能となるPTA活動

地域には味美連合区、白山コミュニティ、保護司会、味美中学校教育後援会、味美中学校区児童生徒健全育成連絡協議会など様々な組織があり、PTA・学校と連携・協力しながら生徒たちへの支援を行っている。

① 学校との連携

ア PTA親子挨拶運動及びふれあいタイム

登校時に校門で、生徒と保護者が一緒に挨拶運動を行っている。

年間7回実施し、毎年延べ30名程度の保護者が参加している。あいさつ運動の後には、来校した保護者を校長室に案内し、校長・教頭と直接意見交換のできるミニ懇談会（ふれあいタイム）を行っている。そこでは、生徒の様子について情報交換をしたり、学校の取組について質問を受けたりしている。



【親子挨拶運動の様子】

イ 親子ふれあい資源回収

資源のリサイクル、勤労体験学習、そして親子のふれあいの場として資源回収を行っている。PTAでは役員を中心にして、参加の呼びかけや参加者数の集約、リヤカーなどの借用、そして資源回収当日は、集荷場所の準備などを各町内の区長と連携して行った。



【親子ふれあい資源回収の様子】

ウ 学校行事支援ボランティア

学校行事にも保護者が積極的に関わることで、子どもたちを支援している。昨年度まで委員で行っていた活動を今年度から保護者全員に呼びかけ、ボランティアを募り、多くの方に協力をいただいている。

体育祭では、来賓受付・案内や保護者受付、不審者対策の警備を行っている。同様に文化祭でも、作品展示会場での受付や会場警備、作品管理をしている。子どもが出番の際は、お互いに声を掛け合い、グループ内で受付を交代したり、行事の様子を見たりし、保護者同士が交流するよい機会となっている。



【体育祭の受付】



【文化祭の受付】

エ 制服リサイクル

家庭教育委員長を中心に制服や体操服のリサイクルを行っている。卒業によって不要になった物や、サイズの合わなくなった物を提供してもらい、3学期の新入生説明会で、希望者に無償で提供している。制服リサイクルは、物を大切に使うことだけでなく、保護者間の人間関係づくり、PTA活動への理解にも役立っている。



【制服リサイクル】

オ 広報活動

学校では「開かれた学校づくり」をめざし、ホームページを充実させている。家庭や地域へ、子どもたちの姿やPTAの活動、学校の取組を、迅速かつ正確に伝えることが、子どもたちの励みや喜び、保護者の安心感をもたらし、学校への信頼につながっていくと考えている。

② 地域との連携

ア PTA地域懇談会

地域の方々、保護者、教員が参加し、味美中学校や子どもたちの様子について情報交換や意見交換を行っている。今年度は「大地震等の大きな災害が発生した時の対応～地域にできること・保護者にできること・中学生にできること」というテーマで情報交換を行った。



【地域懇談会の様子】

イ 味美中学校区児童生徒健全育成連絡協議会教育講演会

毎年、味美中学校区児童生徒健全育成連絡協議会とPTAとの共同開催で教育講演会を行っている。昨年度は、名古屋市教育センターの臨床心理士/公認心理師・社会福祉士の西川絹恵氏を招き「エゴグラム

で自分を知って親子関係を円滑にしよう～子ども達への気持ちの伝え方を考えよう～」という演題で保護者・地域に向けたお話をしていただいた。参加した保護者は、子どもたちと自分自身のタイプを把握し、それぞれのタイプ別の接し方やコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。また、地域の方も会社で使っていたという声を聞き、保護者にとっても地域の方にとっても有効な講演会となった。



【教育講演会の様子】

ウ パトロール活動

地域の大切な行事として毎年7月に行われる白山神社のお祭りがある。そこには、子どもたちだけでなく、他地域や他市からも多くの人が集まる。そこで、トラブルに巻き込まれないように、PTAでは、生活委員長が中心となってパトロール活動を行っている。昨年度まではPTA委員でパトロールを実施していたが、今年度からは、保護者全員に呼びかけることにした。委員の枠を除いたことで、この活動が保護者全体に広く伝わり、これまであまりPTA関係に関わっていなかった方の参加もあった。

エ 地域のボランティア活動

春日井まつり、年に2回行われる白山コミュニティ主催の302号線側道清掃のボランティア、ハニワまつり、サマーフェスタ味美（墨ぬり祭り）などの行事に、多くの生徒が自主的に参加し、地域とのつながりを深めている。



【302号清掃ボランティア】

4 おわりに

味美中学校は、強力な地域の地盤に支えられ、これまでごく自然に家庭・地域・学校の連携を行ってきた。しかし、社会の変化は凄まじく、家庭環境や考え方も多様化してきている。そのため、保護者や教職員の負担をできるだけ少なくし、スリムで効果的なPTA活動を工夫することで、持続可能なPTA活動になると考える。家庭・地域・学校、それぞれ立場は異なるが「子どもたちの健やかな成長を願う」という目的は同じである。そのため、この三者が連携していくことはとても大切である。

小規模校のフットワークの良さを活かし、この変化に対応しながら、それぞれの立場で、力を合わせて、子どもたちの健やかな成長のために、持続可能なPTA活動を目指していきたい。